全身疾患と歯周病

高血圧と歯周病

血圧を下げる薬（カルシウム拮抗薬）を飲んでいるひとは、歯肉が腫れる歯肉増殖症を起こすことがあります。その他には抗けいれん薬、免疫抑制剤などでもおこることがあります。プラークコントロールと歯周治療を徹底することで症状の発現や再発を防止できます。

動脈硬化症と歯周病

歯周病は、脳・心筋梗塞などの原因となる動脈硬化症を悪化させることがわかってきました。歯周病の予防と治療はこれら疾患の予防につながり全身の健康に役立ちます。本学では歯周病と動脈硬化症に関係する血液中の炎症物質と動脈硬化度について研究を進めています

関節リウマチと歯周病

関節リウマチは、全身の関節の骨・軟・腱に炎症を生じる疾患です。関節リウマチにかかっている人は健康な人に比べ歯周炎を起こしている割合が多く重症化しているといわれています。このため、早期の治療と定期的な管理が必要です。

低体重児早産と歯周病

早産（37週未満の分娩）は低体重児の出産につながり、赤ちゃんの死亡原因の第1位です。海外の研究から、歯周病にかかっている妊婦は低体重児早産になることが多いといわれています。日本人では歯周病と早産が関係しているのかどうか、まだはっきりとはわかっていませんが、現在本学産科と共同で研究を行っています。

糖尿病と歯周病

糖尿病患者さんは、歯周病原菌に対する生体の免疫細胞の機能低下やコラーゲン代謝異常が歯周病を悪化させる一因といわれています。最近では歯周病由来の炎症性のサイトカインが糖尿病を悪化させるとも報告されており、更に詳しく研究が進められています。